

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第3学年生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 書く内容の中心を明確にするために、文章の構成や展開を考え、根拠を示しながら書く力が身に付いている。
- 漢字や語彙の意味を適切に選んだり、自分の考えを明確にするために工夫したりすることに課題がある。

【数 学】

- 不確実なものごとの起こりやすさの傾向について、相対度数を求めたり、判断した根拠を示して説明したりする力が身に付いている。
- 「図形」分野において、証明したことを振り返って、新たに分かる辺や角の関係を見いだす力に課題がある。

【理 科】

- 気圧に関する知識や技能を生かして、予想と比較しながら結果を振り返って分析する力が身に付いている。
- 地層や化学変化に関して、獲得した知識を関連付けて自分の考えを表現することに課題がある。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- 学級の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えと深めたり、新たな考え方に気付いたり、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めたりすることができている。
- 課題に対して最後まであきらめずに取り組もうとする意欲をもっている。
- 学校の授業以外で学習時間を確保して、計画的に自ら学習する力に課題がある。
- 数学と理科において、学習したことが将来社会に出たときに役に立ったり、普段の生活の中で活用できていたりすると感じる機会を設定する点に課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 全校での授業改善の取組（個別最適化と協働的な学びの促進）
- ・ 毎週の新聞コラムの読み取り
- ・ 自分で選択する機会を保障した朝プリント学習の実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 普段の生活と関わった課題への改善（数学・理科）
- ・ ICTを活用した授業改善

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 自分の考えを整理して発言したり、相手の意見を受け止めて考えを深めたりする特別活動における話し合いや交流活動の取組

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 家庭学習の時間を増やすための ICT を活用した家庭学習の在り方の整備